

群馬県露地キクIPM実践指標

(普及指導室)

管理項目	管理ポイント	チェック欄			
		点数	昨年度の実施状況	今年度の実施目標	今年度の実施状況
適正品種の選定	品種の選定にあたっては、病害に対する抵抗性と商品性を考慮して決定している。半身萎凋病への感受性は品種間差があるので、土壌消毒が困難なほ場では、前年の発生状況を考慮して、定植する品種を選定している。	1			
健全苗(親株)の確保と養成(必)	親株は病害虫の発生のない健全な株を使用している。親株を購入する場合も健全株の確保に努めている。	1			
	親株の養成中は適正な病害虫防除対策に努めている。害虫侵入を抑制するためネット等の物理的防除手段を講じている。	1			
健全苗の育成(必)	発根までは湿度を十分に保ち、発根後は過度の灌水を避け、健全苗を育成している。	1			
	育苗施設や育苗ほ場への害虫侵入を抑制するため、ネット等の物理的防除手段を講じている。	1			
ほ場の選択と改善(必)	水はけの良いほ場を選択している。水田と輪作を行っているような排水の悪いほ場では高畝栽培とするかほ場周辺に排水用溝を設置する等の対策を講じている。	1			
栽培ほ場と周辺の管理(必)	病害虫の発生源とならないよう、ほ場及び施設周辺の雑草防除に努めている。	1			
ほ場内への害虫侵入防止措置	交信攪乱による害虫の密度抑制を図るため、適用のある害虫に対して性フェロモン剤を設置している。	1			
	ほ場内へのヨトウムシ類、タバコガ類の侵入抑制、産卵抑制を図るため、黄色(緑色)灯を設置している。	1			
	ほ場内への害虫の侵入を防止するため、ほ場全体にネット等を展開している。	1			
	アブラムシ類の寄生を減少させるため、シルバーマルチを設置している。	1			
土壌管理	キクの栽培に適した土作りを行っている。必要に応じて土壌診断を行い、診断結果を参考にし、適正な施肥を行うとともに腐植含量を高めるように努めている。堆肥の利用にあたっては、県畜産試験場が開発した堆肥施用量計算ソフト等を用いて化学肥料の投入量を決定するなど適正な施肥管理に努めている。	1			
	土壌病害、線虫の発生が懸念されるほ場においては、植付前に土壌消毒を行っている。	1			
その他栽培管理	品種・作型に応じた適正な栽植密度で定植している。	1			
病害虫発生予察情報等の確認(必)	病害虫防除所が発表する発生予察情報やフェロモントラップ等を用いて地域で予察を行っている場合には、その情報を入手し、防除の要否を検討している。	1			
病害虫防除の要否の判断(必)	前作や近隣の作物、周辺における病害虫の発生状況を確認し、病害虫の発生を予測している。	1			
	病害虫防除所が発表する発生予察情報などの情報を入手し、防除の要否を検討している。害虫の発生動向を把握することで防除の要否、防除時期を判断している。	1			
	ほ場内を見回り、病害虫の発生や被害を把握するとともに、気象情報などを考慮して防除の要否を判断している。また、必要に応じて粘着トラップ等を設置している。	1			
農薬の適正使用(必)	生育に合わせて、十分な薬効が得られる範囲で最少の使用量となる最適な散布方法を検討した上で農薬のラベル記載の範囲内で希釈倍率・使用量・使用方法を決定している。	1			
	農薬を散布する場合には、周辺のほ場に注意し、適切な飛散防止措置を講じた上で使用している。	1			
	病害虫の発生がほ場の一部に限られているときは、部分散布(スポット散布)を実施している。	1			
生物農薬の利用	適用のある害虫に対して、BT(バチルス・チューリンゲンシス)剤の微生物農薬を散布している。	1			
農薬の選択	栄養生長初期において病害の多発生が予測される場合には、予防効果のある殺菌剤を散布している。	1			
	農薬を使用する場合には、同系統の薬剤を繰り返し使用していない。さらに、当該地域で薬剤抵抗性の発達または薬剤耐性菌が確認されている農薬は使用を控えている。	1			
	生育初期に粒剤を施用することによりアブラムシ類の発生を長期間抑制している。	1			
ほ場の衛生管理	罹病葉や株、摘葉した葉等はほ場内に放置していない。ウイルス・ウイロイド病の病害の発病株は、発見次第早急に抜き取り、適正に処分している。	1			
	ウイルス・ウイロイド病や細菌病の発生が懸念される場合には、病気を媒介しないように器具、手の衛生管理を行っている。前作において病害が発生したほ場では、必要に応じて、用具を消毒している。	1			
	収穫残花や収穫後発生した二番花はミカンキイロアザミウマの増殖源となるので、ほ場内に放置していない。	1			
作業日誌の記帳(必)	病害虫・雑草の発生状況、農薬を使用した場合の農薬の名称、使用時期、使用量、散布方法等の栽培管理状況を作業日誌として記録している。	1			
研修会等への参加	栽培方法・IPM等の研修会等に参加し、情報の収集に努めている。	1			
		合計 点数 評価 結果			